

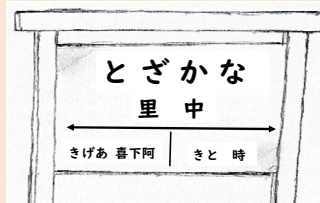


夏の企画展 「買弁の近代化を進めてくれた企業さん」にお越しください！

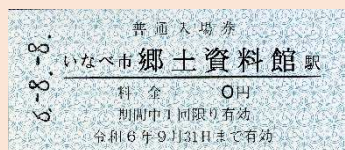
令和6年7月20日(土)～9月22日(日)

いよいよ夏本番です。夏休みに入り親子でのご来館も増えています。夏の企画展が始まったばかりですが、熱心に見学していただくお姿が日に日に増えています。先日は、三岐鉄道で機関車、ディーゼルカー、電車の運転手をされていた方が来館され、こちらから説明するというよりいろいろなエピソードなど興味の尽きないお話をしてくださいました。また、「セントレアから飛びだった飛行機の窓からも藤原の山はよくわかるんだよね～。初めの頃はこんなだったのかー」などと話題はいっぱいです。私の小学校のクラスでは、数人除いてほとんどのお家のお父さんがセメント工場にお勤めでした。級友の女の子が「今度できた新工場のSPタワーはすごいよ…」などとマニアックな話をしてくれたことが思い出されます。おそらくこの地域で暮らしてきた多くの人々にとって存在感のある二つの企業さんだと思います。今回の企画展は二つの企業さんにいろいろとご協力いただいたの開催です。三岐鉄道さんには市内の各駅にご案内のポスターを掲示していただくなど、当館としては今までにない本格的な雰囲気です。

今を生きる私たちにとっても昭和という時代は重要な意味のある時です。関東大震災の混乱の後、経済的に不景気や恐慌、そして戦争など激動の時代を乗り越えて今の平和があるのですが、昭和の初めに笑顔で頑張ってる感でいっぱい鉄道マンの皆さん、外国の技術を使わず独自の技術でスタートしたセメント会社の誇らしい顔つきの社員さんたち……当時のいろいろな写真を見るたびに、元気をいただける特別展です。ご来館ください。



はじめの計画が実行されたなら、資料館のある中里にも駅が作られました。



硬券キップに缶バッジ、ご来館記念のグッズをご用意しました。(数に限りがありますのでご理解を)

夏の暑い日差しを受けて藍の葉っぱが元気よく育っています

丸いメイン花壇と教室前花壇にはサルビアとマリーゴールドの花が元気よく育っています。他の花壇には藍と綿が青々としています。開館当時は草だらけだった郷土資料館の花壇に地域の方々がボランティアでここまで育てていただきました。そして、この夏はみなさんで育てた藍の葉による「藍染」を進めています。まだまだ実験段階ですが、藍の生葉で染めてみると明るいいい青色になりました。ご苦勞をおかけした皆さんの満面の笑みとともにさらに高度な染色を目指そうと盛り上がりました。うまく行けば、来年の夏は、ここで育てた藍葉による本格的な藍染教室を開きたいと考えています。



生の藍葉で染めるのはバッチリです

